

江蘇省塩城市について

黄海の沿岸部、中国江蘇省沿岸地域の中部に位置する塩城市は、「東方の湿地、黄海のパール」として知られている。1983 年に市制が施行され、1988 年に沿海開放都市に指定された。塩城は海塩の生産によって繁栄したため、「塩城」と名付けられた。

面積：17,000 km²（江蘇省内第 1 位）

人口：約 800 万人（江蘇省内第 2 位）



自然が豊かな土地

塩城市は湿地、海洋、森林の 3 大生態系を兼ね備えている。長江デルタ地域最大級の豊かな自然を誇り、中国第一陣のカーボンピークアウト先行都市にも指定されている。

また江蘇省で最も長い海岸線、最も多い干潟資源、最も広い海域面積、最も豊富な風力・太陽光発電資源量、最も広大な未開発地を有している。



主要な産業

塩城市は、長江デルタ地域で最大かつ最も潜在的な力のある未開発土地資源を有している。

また、グリーン低炭素成長型モデル都市の建設を足がかりに、「脱炭素先行都市づくり」に取り組んでいる。



視察コースについて

塩城国家クラス珍鳥自然保護区

干潟湿地の自然景観をもとに、観光やバードウォッチング、スタディツアーなどの事業を展開している。同保護区はこれまでに、「江蘇省科学普及教育基地」「江蘇省エコツーリズムモデル区」などに指定されてきたが、さらに 2019 年にはユネスコ世界自然遺産として登録された。



大豊麋鹿国家クラス自然保護区

※視察先は「中華麋鹿（シフゾウ）園」

シフゾウと湿地生態系の保護、野生個体群の回復という重要な役割を担っている。現在、同保護区のシフゾウの個体数が世界の 70%を占めており、世界最大の面積を誇るシフゾウ保護区となっている。



東台黄海森林公园

国家級森林公園・国家AAAAA級観光地・省級観光リゾートに認定され、またユネスコからは「西太平洋沿岸で稀に見る汚染されていない沿海リゾート」と認められた、貴重な自然環境を有している。また同公園内には木育森林科学体験館、森林観光列車、ホテルなどの宿泊施設が整備されている。



条子泥湿地

その形や入り組んだ水路、砂紋が帯状(条子)に近いことから名付けられた。条子泥は世界最大の潮間帯湿地と最大規模の放射状砂堆群を有し、「鳥の楽園」と称されている。満潮時でも渡り鳥が休憩できる陸を確保するために、条子泥には中国初の渡り鳥永久休憩地が建造されており、数十万羽の渡り鳥がいつでもここで休憩することができる。



塩城黄海湿地

※視察先は「中国黄海湿地博物館」

海・陸・空にわたり生物と自然が調和して共生しており、中国初の沿岸湿地類の世界遺産として登録された。また、中国初の経済が発達し、人口が集中した地域に位置する世界自然遺産でもある。

